

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	舞踊	種目	現代舞踊
----	----	----	------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	とくていひえいりかつどうほうじん こくさいぶんかこうりゅうそくしんきょうかい かるていべいと 特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティベート		
代表者職・氏名	代表理事 堅田 政明		
制作団体所在地	〒 227-0062 神奈川県横浜市青葉区青葉台2-6-15 ベルグレイス青葉台607 (東急電鉄田園都市線青葉台駅下車)		
電話番号	045-516-6515	FAX番号	045-516-6515
ふりがな 公演団体名	とくていひえいりかつどうほうじん こくさいぶんかこうりゅうそくしんきょうかい かるていべいと 特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティベート		
代表者職・氏名	代表理事 堅田 政明		
公演団体所在地	〒 227-0062 神奈川県横浜市青葉区青葉台2-6-15 ベルグレイス青葉台607 (東急電鉄田園都市線青葉台駅下車)		
制作団体 設立年月	平成23年10月認証		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事/堅田 政明 理事/谷口 修 理事/手塚 静江 監事/長谷川 茂	代表理事(1名)⇒理事(2名)⇒事務局(3名) 理事会 ⇒ 運営委員会 企画部門 - プロジェクトチームを編成 (制作、演出、スタッフ、キャスト、ダンサー他) ※巡回公演出演ダンサーの一部は採択次年度以降、順次 公演実施ブロック・地域対象のオーディションを行い決定 しています。	
事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	堅田政明
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	堅田浩巳

<p>制作団体沿革</p>	<p>■平成23年10月法人認証(神奈川県横浜市) ・平成24年1月横浜・地区センター自主事業/ヒップホップダンス教室事業支援 ■平成25年12月平成26年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」募集 ・講師派遣事業13校採択(神奈川県立横浜南養護学校他) ■平成27年5～6月平成27年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」採択 ・学校巡回公演実施:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 【福島県他小中学校(含養護学校)計18校実施済】 以後、平成27年度から令和3年度にわたり文化庁巡回公演事業:現代舞踊「ヒップホップダンス(ストリートダンス)」分野で唯一制作・公演する団体として又、同じく文化庁事業の芸術家派遣事業やコミュニケーション能力向上事業等々に於いて活動領域を広げ地域的、学校種別的にも幅広く活動し、多数の学校現場(令和3年度は110校程:多年度採択・継続実施中)で高い評価を得ている。</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>■学校公演実績(文化庁事業) 1) 平成27年 5～6月 平成27年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 福島県他小中学校(含養護学校) 計21校実施 2) 平成28年 5～6月 平成28年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 宮城県・青森県・北海道他小中学校 計17校実施 3) 平成29年 5～7月 平成29年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 京都府/市・福井県・石川県・富山県・新潟県/市 計14校実施 4) 平成30年 5～7月 平成30年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 神奈川県・静岡県・愛知県・岐阜県・横浜市・相模原市・名古屋市 計21校実施 5) 令和元年5月～7月 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 岡山県・広島県・山口県・岡山市・広島市 計14校実施 6) 令和2年10月～令和3年3月 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 東京・千葉・茨城・山梨・千葉市 7) 令和3年10月～11月学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 三重県 滋賀県 大阪府 奈良県 和歌山県 / 大阪市・堺市 計26校実施(予定)</p>		
<p>特別支援学校における公演実績</p>	<p>■文化庁講師(芸術家)派遣事業対象校、 横浜市立市ヶ尾中学校、同市立中川西中学校、神奈川県立横浜南養護学校等に於いて個別支援学級(特別支援学級)及病院内学校にプロダンサーによる『ダンス鑑賞とワークショップ授業』を行い、非常に好評を得ています。 平成27～31年度も継続実施し、特に重複障がい児童生徒の特別支援学校でのワークショップ授業の実施をしています。平成27年度学校巡回公演では福島県立大笹生養護学校並びに石川養護学校で公演を行いました。更に同30年度、31年度に於いては、神奈川県立麻生養護学校や広島県立三原特別支援学校等々毎年度複数校で本巡回公演が支援教育校に於いても実施され、児童生徒はもとより教員方からも高評価を得ています。 又、コミュニケーション能力向上事業は29年度から前述の特別支援学校でも継続実施され、昨年度からは大阪府立八尾支援学校も加わり、その東西での取り組み成果が公演事業に多面的にフィードバックされ好循環となっています。 更に令和2年度に於いて新潟県立東新潟特別支援学校、広島県立三原特別支援学校(中学部)でも採択となり同年度計4校の事業実施が予定されました。令和3年度は新潟県立特別支援学校3校、大阪府下で2校と神奈川県では学校法人1校の計6校となり東西の各校の支援学校等で実施に向け鑑賞・体験授業等準備が進んでいます。</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>A</p>	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有</p> <p>有</p> <p>http://npo-cultivate.org/</p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>
<p>Aの提出が困難な場合</p>	<p>Aの提出が困難な場合</p>	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティベート】

対象	<input type="radio"/>	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	中学生	
	<input type="radio"/>	小学生(中学年)			
	<input type="radio"/>	小学生(高学年)			
企画名	-日韓トップダンサー夢の競演- 『これがヒップホップダンス!』				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p style="text-align: center;">学校巡廻公演(2022)・</p> <p style="text-align: center;">-日韓トップダンサー夢の競演- 『これがヒップホップダンス!』</p> <p>企画/制作: 堅田 浩巳 堅田 政明 構成/演出: 今城 裕治 振付: 江頭 耕治 監 修: 姉小路公孝</p> <p style="text-align: right;">公演時間(90 分)</p>				
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	該当なし	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	<p>この数年でストリートダンスは一部愛好家や若者文化の象徴から脱皮し、現在世界中で多くの人々に支持され拡大しています。現在テレビ、音楽やファッション、広告等様々な文化・芸術に影響を与え、又2024年開催のパリオリンピックではヒップホップダンスの中でブレイクダンスが正式競技種目として決定となり、特に世界的にもレベルの高い日本人若手ブレイクダンサー(男女共に)の注目度が高くなっています。更に健康維持・増進に役立つダンス・運動として社会的に幅広い分野や高年齢層に至るまでに大きく広がり、支持を受け成長を拡大し続けています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●過去10年以上の間に多数の小中学校での学校コンサート(公演)実績も有し、多くの小中学生が鑑賞しています。 ●□のステージを学校現場で本格的に導入、実施され浸透してきたダンスを次世代を担う児童・生徒達向けに、よりブラッシュアップ。更に様々な文化的要素も大胆に取り入れ表現、世界に誇れる日本人トップダンサーを起用し、文化交流史としても長い時間を重ねてきたお隣の国、韓国のトップダンサー達も参画します。 ●□公演に参加する韓国のダンサーは特に来日経験も豊富で日韓合同のステージも多数経験している実績豊富なダンサーを起用しています。このチームが優れた高い文化・芸術性を表現し、他では決して得ることが出来ない驚きと楽しさあふれる交流体験・感動を与え、もっと楽しく、ダンスを、身体を動かしたくなる様なども盛り上がるステージです。 ●□に本公演の構成内容をご覧ください。⇒【別添シート①】 				
演目選択理由	<p>【ヒップホップダンスを選択した背景/理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●児童・生徒達やその他様々な分野や領域へストリートダンスの認知の急速な広がり深まり、そして定着が全国的に顕著になりました。 ●ストリートダンスの国際性と文化・芸術性への理解と高まりがあります。 ●アフリカや南米の民族文化をベースとした米国生まれ・発祥で、多文化・芸術を入れ発展した多様性を象徴した代表的な文化のひとつが、韓国や中国等アジアやヨーロッパ、東欧各国の若者達を中心に強い支持を得て、人種や性差を越え幅広い層に受容され浸透しています。 ●ダンス『現代的なリズムのダンス』が学校教育、体育教育へ、平成23年～25年度から導入されて来ました。特に平成24年度、中学校での「ダンス必修化」に伴い、社会的に大きく取り上げられ、幅広く若年層から中高年齢層にまでダンスが認知、自らも取り組む姿が多く見られます。 ●ダンスの児童・生徒達への広がり: 各種キッズダンス大会が全国各地で多数開催され、更に現在も増え続けています。 ●日本人ダンサーの世界的活躍: 高度な技能・芸術性でトップ、世界をリードします。(各種ストリートダンスの国際大会に於いて連続世界一、優勝を獲得) ●そして、特に日本人若手ダンサーが世界トップレベルで大活躍しているブレイクダンスがリオ・オリンピック(2018年ブエノスアイレスユースオリンピック)競技種目に加わり、金メダル等トップの成績を獲得する等更に注目され、小中学生や高校生の間で関心が一層広がっています。又、2024年開催のパリオリンピックでもブレイクダンスが競技種目として決定されています。 ●日本同様、世界大会で上位を競う韓国のトップダンサーも本公演に参画し、そのダンスを披露するだけでなく、生徒達とも交流・触れ合いを通じ互いの文化を知る、相互に理解しあい友情をはぐくみ交流を重ねることの大切さを学びます。 ●又、令和3年度文化庁事業である『子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業』に於いても、ブレイクダンスを中心としたヒップホップダンスの鑑賞・体験型の授業を中学校(川崎市)を中心に複数の地域で実施することが決まりました。⇒【別添シート②】 				
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<ul style="list-style-type: none"> ●事前ワークショップでの初めてダンス体験から本番のダンス参加まで、生徒達へのダンスの指導とプロのトップダンサーとのコミュニケーション・相互交流が多数行われます。 ●世界レベルのダンス公演の鑑賞 ●本公演でのダンス参加 ●事前ワークショップでのチーム別結果発表や合同でのダンス参加 ●教職員の方々も児童生徒と共にワークショップや公演時にダンスに参加頂くことが可能です。多くの学校公演で校長先生や先生方が積極的に舞台上でパフォーマンスを披露され、終了後これまでに以上に児童生徒とのコミュニケーションが活発となった等の感想を多数頂いています。 ●日韓ダンサーとの質疑応答や相互交流・文化交流 ●ご希望によりステージアート(舞台芸術・技術)体験ステージ設営体験(舞台作り、照明、音響等)公演やワークショップで使用する音楽(曲目)を校内放送で流し、生徒達に親しんで頂き、より効果性を高めます。 				
出演者	※別紙『出演者リスト』をご覧ください。				
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 10 名 スタッフ: 14 名 合計: 24 名	機材等 運搬方法		積載量: 4 t ワイド 車長: 8.64 m 台数: 1 台	

【公演団体名 特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティベート】

実施に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み	有	会場設営の所要時間			3 時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	午前8時	午前8時～午後0時	午後1時30分～午後3時	0分(水分補給有)	午後3時30分～午後4時30分	午後5時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	数名～800名以上も可				
	本公演	同上 (8名～約800名:これまでの実施実績)				
ワークショップ実施形態及び内容	<p>【実施形態及び内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンサーチームのリーダーによる説明とダンス指導を行います。 ・ストリートダンスのストレッチ・ステップ・動作の基本を習う ・ストリートダンス応用編:振付や複数やチーム等に取り組み、本公演に向けて練習をする <p>所要時間は約90分としていますが、教員方とご相談の上調整も可能です。又、スケジュールや楽屋等に関する打合せも行います。</p>					
ワークショップ実施形態の意図	<p>【実施形態の意図】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストリートダンスのストレッチ・ステップ・動作基本を習う ・ストリートダンス応用編:振付や複数やチーム等に取り組み、本公演に向けて練習をする <p>所要時間は約90分としていますが、教員方とご相談の上調整も可能です。又、スケジュールや楽屋等に関する打合せも行います。</p>					
特別支援学校での実施における工夫点	<p>特に変更なく対応、実施可能です。</p> <p>事前に担当の教員の方々と児童・生徒達に対する留意点の有無を含め、打合せ・調整を充分に行い準備・実施します。現在、個別にダンサーがボランティア等でダンスを教えに伺っています。又、平成27～令和3年度の学校巡回公演に於いても複数の公・私立養護学校でワークショップと上演を行っています。更に、きめ細かな準備と実施が求められる芸術家派遣事業(文化庁)も、小中学校個別支援(特別支援)学級等で授業を多数校で行い大変好評を得ており、参観の保護者の方々からも非常に高評価を頂き、29年度から、更に高度なスキルを求められるコミュニケーション能力向上事業(文化庁)も採択され令和3年度では全国6校で準備・実施が進んでいます。</p> <p>これら各校の先生方も支援を必要とする生徒達も、音楽や体を動かす事が大好きで、プロダンサーとの交流をととても楽しみにしています。私達もこの学校公演で、生徒の皆さんに本物のトップダンサーによる文化芸術に触れて頂き、ヒップホップ・ストリートダンスの楽しさを体感して頂きたいと強く思っています。</p>					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先	No.1	【公演団体名 特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティベート】
演目概要	<p>学校コンサート(2022)構成 -日韓トップダンサーの競演- 『これがヒップホップダンス!』</p> <p>MC (前説明)2分 《オープニング》(3分) M1 テーマ曲 出演者全員登場 (2分30秒) 第1章 ヒップホップダンス? (15分) MC (ヒップホップダンスとは?を、紹介) ①🌀ダンスとは (ダンサーが出てきて紹介後、踊りのパターンを紹介) ②🌀ダンスとは 同 上 ③🌀ダンスとは 同 上 各スタイルの特徴を生かしたダンスを披露。ヒップホップの最高テクニックを披露することで、より近くにダンスを感じられる様に工夫 また、照明音響等効果を駆使して、ダンスシーン最先端の表現を見て、感じてもらう。 第2章 ヒューマンビートボックス HB・ボイスパーカッションの一種) (10分) MC (ヒップホップの種類でヒューマンビートボックスを紹介・説明) M5 ヒューマンビートボックス ダンス以外のヒップホップ文化の一つである、ヒューマンビートボックス。ここで韓国からのビートボックスとして登場し妙技を披露し、日本チームダンサーと競演する。ダンス以外の文化にも触れながら、ヒップホップの魅力を違う角度から感じてゆく。この交流をきっと児童生徒たちは、目を丸くして、驚きの中で、時間を過ごすことだろう。 第3章【THE BATTLE】(20分) MC (バトルの歴史と面白さ) M2 戦い入場の音楽 M3 戦い チーム赤 VS チーム青 (観客に勝負を決めてもらい、表彰式)□ M4 表彰～退場曲□ ダンサーを2チームに分け、ダンスを競い合う楽しみを体感。又、学校の状況によりもし可能であれば先生方だけのチームを編成、出場頂きパフォーマンスを披露頂く。 そして児童生徒たちに勝敗を判定してもらう。 M5退場曲 バトルの歴史を紹介しながら、武器による戦いではなく、文化による戦いを強調。そして、最後は、握手によって、ノーサイドになることを見せてゆく。</p> <p>第4章みんなで踊ろう!! (20分) MC (みんなで踊ることを提案) M6 みんなで踊ろう 賑やかに、全員で、ヒップホップを習い、踊る! ダンサーたちの自己紹介を含めて、全員で、ダンスの練習。皆のレベルに合わせて、最後は全校合同で、賑やかに、ヒップホップを踊る! 第5章 質問コーナー (10分～) MC (子供たちとダンサーとの質疑応答、或いはサプライズコーナーあり) 賑やかなひと時を終えて、興奮冷めやらぬ雰囲気の中で、質問会を行う。 児童生徒とダンサーとがさらに近づき、別れがたい印象が強まってゆく。</p> <p>終章 エンディング (5分) M7 エンディング(友好B) 出演者全員登場 最後は、もう一度、照明や映像溢れる中で、一人一人を紹介しながら、ダンサーたちの、得意なテクニックを披露しながら、大団円を作り上げてゆく。</p> <p>総計90分</p> <p>【出演者】 10 名 ・ダンサー 日本 …ロックダンサー 3名 ポップダンサー 2名 韓国 … ブレイクダンサー3名 ・ヒューマンビートボックス… 1名 ・司 会 女性 … 1名 合計10名</p> <p>※この演目では、次世代を担う多くの児童生徒達に世界に誇る日本の本物の芸術・文化と共に韓国のトップダンサーと文化芸術を身近に、目の前で触れ大きな感動や驚きを感じてもらいます。そしてダンスを通じ、互いを理解すること、体を動かす楽しさや充実感を大いに実感してもらうことを狙いとしています。</p>	      

リンク先	No.2	【公演団体名 特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティベート】
演目選択理由	<p>■この様に本学校公演では、ヒップホップダンスを通じて、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 世界レベルの優れた文化・芸術への関心度の深化 2) 健康な身体や体力作り、体力向上への取り組みと重要性の理解 3) ダンスレッスンを通じたチームや相互のコミュニケーション能力向上 4) 国際文化交流として隣の韓国のダンサーとの交流を通じ、相互のコミュニケーションの重要性や文化の多様性を体感しながら、国籍や民族が異なっても同じ地球に住む人間どうしであることを実感してもらいたいと思います。 5) ワールドカップやオリンピック等のスポーツでも注目、強調される日本の『チーム力』、特に複数名で組むダンスによるチームワークの大切さ、必要性を学ぶ等の体験機会や実感を与えます。そして日本の誇れる優れた文化・芸術分野の内容を正しく生徒達に提供し、認知と理解を深めて頂く絶好の機会とします。 <p>■次にこれまで学校巡回公演実施をさせて頂いた<u>先生方の声を紹介</u>させていただきます。</p>	
	<p>一緒に踊る場面があったり、反応を求められる場面があったりと、参加型の公演であった。その為、発達段階の違う1年生から6年生までが90分間を集中して楽しい時間を過ごすことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップを含む本公演を通じて、直接体験や直接鑑賞することの大切さや、DVD等では得られない現代舞踊への興味・関心を高めること、身体表現をすることの楽しさなどを仲間とともに感じることができたようである。また、生徒の踊っている姿から、授業では見せない表情やダンスなどの身体表現能力など、生徒理解を行う良い機会となった。さらに、今後、ステップや振り付けをはじめ教科である保健体育のダンスの学習等に活用が期待される。 ・子どもたちに質の高い芸術を体験・鑑賞する機会を与えることができ、たいへんありがたく思います。ワークショップから本公演という構成がなされていたので、子どもたちも抵抗なくヒップホップダンスに親しみ、リズムに合わせて自ら体を動かす楽しさを実感することができました。また、体育科の表現運動の指導にも役立つもので、大変に参考になりました。 ・所狭しと舞台を駆け回る大きな動きや、激しい動きで見ている児童の視線を1時間半、途切れなく引きつけていた。また、ステージ上で踊るダンサーの本物の踊りを直に見ることによって、踊りのすばらしさを児童たちに感じさせることができた。 ・予想を大きく超えた舞台、照明、音響装置なども本格的であり、学校独自で取り組むダンス教室などとは一線を画したプロのダンスを体験させることができ、実施して本当によかったという感想をもてた。 ・全児童が踊ることに参加させていただいたが、全身を使ってのダンス表現、表情豊かに踊る姿など、児童の普段は見られない姿を垣間見ることができたことも収穫だった。 <p>(巡回公演 『これがヒップホップダンス！』フィードバックシートより抜粋)</p>	

■令和4年度公演出演者（予定）氏名：本名リスト

人数	芸名	本名
1	E G A	江頭 耕治
2	HANA	光嶋 葉菜
3	MIKU MIKU	橋口 未来
4	T O S H I	中澤 利彦
5	K I T E	政井 海人
6	G E N	松本 元樹
7	Shorty_force	ソン スヨン(SUNG SEUNGYONG)
8	MIGHTY1	チュン ヨホ(JUNG YUNHO)
9	TAZO	ハン サンホ(HAN SANGHO)
10	MC : TOMIKAHO	富 香穂

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	H108	分野	舞踊	種目	現代舞踊	ブロック	H	区分	A区分
公演団体名	特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティペイト			制作団体名	特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティペイト				

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	3室	条件	出演者の男性1室、女性1室、スタッフ1室が原則ですが、状況に合わせて対応します。				可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック	1台	2tトラック	1台	不可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細								
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック(舞台関係)と、2tトラック(電源車)				不可	
	搬入車両の横づけの要否 *			2tトラック(電源車)は、横付けが必要です。				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内				可	
	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・舞台機材なので、雨に濡れない屋根のある経路が望ましい。				可	
	理由			2tトラック(電源車)は、横付けが必須ですが、4tトラック(舞台関係)が、横付けできない場合は、別に2tトラックを用意し、積み替えて搬入出します。その場合の4tトラックの駐車場所の提供をお願いします。					
	設置階の制限 *			問わない				—	
	搬入間口について 単位:メートル		幅	3~4m	高さ	2~3m		不可	
WSについて	参加可能人数	会場との関係から、手を広げられれば大丈夫です。					可		
	学年の指定の有無 *		指定学年 *				可		
	所要時間の目安 単位:分	90分程度					可		
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調査」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数			会場の大きさにもよりますが、ステージとフロアを使用できる場合、800~1000名程度まで				可	
	舞台設置場所 *			ステージ上・フロアの両方				可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	9m	奥行	4~5m	高さ	5m	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要				可
		舞台袖スペースの条件 *			袖に荷物が無い状態				可
		緞帳 *	不要		パトン *	不要			可
	遮光(暗幕等)の要否 *		要	理由	特殊効果等、照明を使用します。			可	
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			不可	
		ピアノの事前調律 *		不要				不可	
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				可	
	公演に必要な電源容量		電源車使用	※主幹電源の必要容量				不可	
	その他特記事項							応相談	
ピアノは、使用しませんが、舞台上にある場合は、舞台からの移動をお願いいたします。							可		
電源についても、電源車を持ってまいりますので、大丈夫です。									
その他につきましては、ご相談しながら進めさせていただきますので、ご安心ください。									

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	3~4m	高さ	2~3m
搬入車両の横づけの可否		2トトラック(電源車)は、横付けが必要です。		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

